

パンタナール通信

一般社団法人 南北米福地開発協会 会報

2021年6月1日 213号

世界平和地球村の建設と自然環境の保護



左より、豊村氏、荒巻さん、本田さん、ヌワビシさん、源田さん。4月21日



5名を乗せたボートがやって来た。4月21日

がやっ来て。4月21日
レダの青年たちもど
んどん言葉を覚え、
IT機器を駆使し、
生き生きとした情報
を世界に発信してく
れるかもしれません。
7月には、第21回
国際協力青年奉仕隊
と共に活動します。

レダに新たな青年ボランティア！

4月21日、豊村氏と4名の青年がレダ基地に到着しました。青年はいずれも女性です。彼女たちは中期ボランティアとして、パンタナールを体験し、レダプロジェクトを実地で学び、奉仕生活をしようと、篤い志を抱いてやって来ました。すでにレダ基地で活動している滝川君、川久保君と合わせ、レダの日本人青年は、総勢6名となりました。熟年スタッフは無論、ヤングパワーを大歓迎。

レダは新たな活気に満ちています。

南半球にあるレダの気候は、これから8月にかけて涼しい日が多くなっていきます。最低気温が10℃未満になる日も珍しくありません。また蚊の発生も抑えられます。この季節に初めてレダ入りして中期以上の滞在をする人は、まずレダでの新しい生活に慣れ、その後徐々に厳しい暑さにも慣れていくことができるでしょう。

新規のレダ赴任者は、伝統的な体験学習に臨みます。中でも釣り体験は、提唱者文鮮明・韓鶴子総裁夫妻の思想と心情を学ぶことを目的とした、レダの必修科目とも言えるものです。たとえ1匹も釣れなくても、何かを感じ、何かを学ぶのです。4月24日の釣り体験では、4名の合計でパクー9匹、ピラニア20匹を釣り、幸先のよいスタートを切りました。そして、養殖、養豚、農場、浄水場、工具室、台所、清掃、ほか重要な担当分野を順次体験しながら、開拓者として成長していくことでしょう。

一般的に、若者は感性に優れ、頭脳と身体が柔軟、純粹な理想を抱きやすい、などの特長があります。そして熟年者よりも未来の時間が多くあるのが強み。レダの青年たちもど



ヤシの実を採る青年たち。



歓迎のケーキをカットする青年たち。4月21日



レダ基地スナップ

岩澤所長(中央)が米国経由で到着。4月28日



グアラニー族の村で活動する中田氏(中央)と青木氏(左)。



グアラニー族の村にて、中田氏(右)と青木氏。5月初旬



北中氏(左)と大元氏がレダ到着。5月12日



パクーの切り身を作る小橋氏。5月9日



ベンチを製作する水落氏。4月21日



浄水場作業を学ぶ青年たち。5月2日



公館前に釣果を並べて。4月24日



青年たちが豚ランドを訪問。4月22日



カナン牧場の犬と鶏たち。4月16日



休ませていた養殖池を整備。4月15日



メーデーを祝う焼肉を準備。5月2日

家庭で移住し事業定着を目指す



南米で
頑張っ
ます! 一般社団法人
南北米福地開発協会 青年局長
しまだ けんじ
島田 賢二さん

「世界の僻地に渡り奉仕したい」

幼き頃にシュバイツァー博士に憧れた。時は流れ、その幼い子供は成長し青年となった。そして、結婚をし家族を持った。それでも、シュバイツァー博士への憧れは消えることはなく、世界の僻地に渡り、奉仕したいという思いも変わらなかった。一般社団法人南北米福地開発協会の青年局長・島田賢二さんは今年、一大決心をした。それは家族連れでの南米移住だ。

現在、クラウドファンディングで渡航費を集めている。目標額は100万円(4月1日まで)。16日現在

Sunday世界日報 3月21日付に掲載された記事。

その結果、順調に支援が集まり、2日で20%、折り返し地点で75%、13日を残して100%を達成し、最終的に上記の金額になりました。支援者の情報を見ながら把握できた大まかな内訳は、南北米福地開発協会の会員など既存の支援者、

かななかったとしても、ページの閲覧者が1878人に上り、今までレダ・プロジェクトを知らなかった人たちにも、それなりに広報ができたと思います。このようにしてレダ移住を懸けたクラウドファンディングを成功させたので、今年4月3日に行われた新春特別集会で、その報告を行いました。その集会の最後には抽選で3人に賞品が手渡されたのですが、理事長が最初に引いた1等賞のくじの当選者が「島田賢二」だったのです。100人ほど集まった集会で、偶然にも自分の名前が呼ばれたのですが、あとで他の参加者から「神様が島田さんを選んだのね」と言われました。人々から支持を得て、天からも召命されたのだと思ひ、これから次世代のレダ・プロジェクトを担う覚悟を固め、再出発していききたいと思ひます。

レダ移住を懸けたクラウドファンディング

青年局長 島田賢二

今年2月17日から4月1日まで「パンタナールの自然を守るため、家族でパラグアイに移住したい!」というタイトルで、目標金額100万円のクラウドファンディングに挑戦しました(<https://readyfor.jp/projects/leda-iju>)。初めての試みで、悲壮な覚悟をしながら臨んだクラウドファンディングでしたが、おかげさまで101人から122万7千円の支援を受け、成功することができました。

南北米福地開発協会の青年局長として6年間働いてきましたが、その中心的なテーマは「レダ・プロジェクトの後継者を探し立てる」ことでした。そのために、SNSを使った情報発信や中期ボランティアなどの枠組みを作って、青年派遣に注力しました。しかし、青年の定着率は低く、思うように世代交代は進みませんでした。

既存スタッフが皆70歳を超えていく中、誰かがレダに行つて、レダ・プロジェクトを継承しなければなりません。できれば単身赴任のシニアや独身青年ではなく、現役世代が家族を連れて移住することが求められています。今の時点では私の家庭しかないと思われました。また、近年自分なりに勉強し



レダの押し花で作ったしおり。

ながら、さまざまな先進的手法を知り、レダ・プロジェクトの次世代ビジョンが見えてきたこともあり、家庭移住を決意しました(今年4月末に第4子の出産があったため、移住は来年初期を予定)。

ところが、我が家にも、南北米福地開発協会にも余裕はなく、返済が要らない資金を調達してくる必要がありました。また、現地経験や特別な専門性を持つていない私が、レダ・プロジェクトの中心的な後継者となる資格があるのか、という内的な課題もありました。資金調達と資格確認、そして広報の目的も兼ねて、クラウドファンディングを行いました。

クラウドファンディング会社申請を出し、審査通過後、契約を交わし、ウェブページを作成してクラウドファンディングを開始しました。期間中は、知人に個別連絡をし、SNSグループに投稿し、集会でプレゼンテーションをし、ウェブページを更新し、メディアに掲載を依頼し、支援者のコメントに返事を書き、返礼品としてレダの押花をラミネートしてしおりを作りました。

その結果、順調に支援が集まり、2日で20%、折り返し地点で75%、13日を残して100%を達成し、最終的に上記の金額になりました。支援者の情報を見ながら把握できた大まかな内訳は、南北米福地開発協会の会員など既存の支援者、



島田賢二さんの家族。2020年11月1日撮影。

私の知人、会員や私の知人の関係者と思われる人が、おおよそ3分の1ずつでした。クラウドファンディングサイトに繋がっていた支援者は1%ほどで、期待していたほど大きな支援を得ることはできませんでしたが、関係者とはいえ3分の2を既存支援者以外から集められたのは大きな成果でした。

クレジッ トカード決済も可能であつたため、海外からの支援も2割ほどあり、若い世代(40代以下)からの支援も4割ほどあるなど、そのような広がりも見られました。支援まで行

第21回青年奉仕隊支援のお願い

第21回国際協力青年奉仕隊は、来る7月にパラグアイ共和国チャコ地方のマリア・アウシリアドーラ村での奉仕活動とレダでの体験学習とを主軸に実施します。同



トロパンパ村に完成した美しい公園。2018年9月3日の公園造りは、2018年のトロパンパ村における実績(上の写真)があり、青年奉仕隊の活動を知った方々から、自分たちの村に奉仕活動の一環としてのトロパンパ村に完成した美しい公園。2018年9月3日の公園造りは、2018年のトロパンパ村における実績(上の写真)があり、青年奉仕隊の活動を知った方々から、自分たちの村に奉仕活動の一環としての

た近隣のコミュニティの多くから、自分たちの村に奉仕活動の一環としてのトロパンパ村に完成した美しい公園。2018年9月3日の公園造りは、2018年のトロパンパ村における実績(上の写真)があり、青年奉仕隊の活動を知った方々から、自分たちの村に奉仕活動の一環としての



木製遊具見本

木製遊具見本
お持ちいたします。ご支援は、下記の口座をお願いいたします。

第22回ワンディセミナー延期のお知らせ

5月15日に予定していた、第22回ワンディセミナーは、東京都に出されていた緊急事態宣言の延長措置により、セミナーの会場が使えなくなりました。このため、やむを得ず同セミナーの開催を延期いたします。すでに参加を予定していた方々には、大変申し訳ありません。新しい日程や会場については、新型コロナウイルス感染症の動向を踏まえた上で、改めて本紙および当会ホームページ(下記のURL)等でお知らせいたします。



2017年オリンポ



2016年ディアナ



2019年ガラニ



2018年トロパンパ

一般社団法人 南北米福地開発協会 事務局

〒213-0001

神奈川県川崎市高津区

溝口3-11-15

岩崎ビル4F

電話: 044-829-2821

FAX: 044-829-2820

支援金振込口座: ゆうちょ銀行

記号10280 番号61349751

一般社団法人 南北米福地開発協会

Eメール: office@asd-nsa.com

ホームページ: <https://asd-nsa.com>

Facebook: <https://www.facebook.com/ledaproject.jp/>

会員の皆様へ

会員の皆様には、周囲の方々にレダ・プロジェクトを紹介し、入会の案内をしていただければ幸いです。紹介用のパンフレット(印刷済み)、および入会申込書は、左記の事務局にお申しつけください。



入会申し込みは、左のQRコードから、グーグルフォームでも行えます。パソコンでは、下記のURLにアクセスしてください。

<https://asd-nsa.com/nk/>

レダ・プロジェクト紹介用パンフレットPDF版



紹介用パンフレットは、ネットでも入手いただけます。

スマホなどの端末で、または印刷してクリアファイルに入れてどうぞ。



<https://asd-nsa.com/sk/>